ウェブ版はこちら。最新のデータとレーティングはウェブ版が優先されます
alphascope.cc/ja/reports/2026-09-25-msft

2026-09-25 終値時点 · FY26 第4四半期（2026-06-30）までの決算（10-K は 2026-07-29 提出）

**マイクロソフト** MSFT

# マイクロソフト： 売上高は18%増、PER 26倍と同業比で割高、利益に投資関連益を含む

本業は好調である。FY26の売上高は$331.8B（+17.8%）、営業利益は$155.2B（+20.8%）で、Azureは通期で初めて$100Bを超えた。商業RPO（残存履行義務：契約済みで未認識の収益）は$678B（+84%）である。開示資料との照合により、留意すべき点が3つ確認された。第一に、GAAP利益にはOpenAIの持分希薄化益$6.5B（税引前）が含まれる。第二に、会社の調整後ベースはOpenAIのみを除外しており、第4四半期のAnthropic投資益$3.2Bは調整後EPSに残っている。第三に、設備投資が倍増してフリーキャッシュフローは$71.6Bから$67.0Bに減少し、未開始のデータセンター・リース契約$329.1Bはオフバランスである。市場環境では、FRBが9月に利上げし、米10年債利回りは5.18%まで上昇した。当銘柄の年初来騰落率は+7.4%で、S&P 500とテクノロジーETFを下回っている。

| レーティング · 12カ月 · 対 S&P 500 | 株価 | 時価総額 | 1年騰落率 | 今期予想PER |
|---|---|---|---|---|
| 中立<br>2026-10-01 確定 · レーティングの定義 | $516.17<br>2026-09-25 終値 | $3.83T<br>Technology | +2.6%<br>年初来 +7.4% | 26.1x<br>EPS 19.76（アナリスト平均） |
| 次回決算<br>2026-10-29<br>yfinance カレンダー | | | | |

01

## 相場環境

**指数**：2026-09-25時点で、S&P 500は年初来+13.1%、1年+17.2%、ナスダックは年初来+16.5%である。直近1カ月は明暗が分かれ、ナスダック+3.6%、ダウ-3.1%、ラッセル2000 -5.6%となり、資金は大型ハイテク株に集中している。

**セクター**：テクノロジーETF（XLK）は年初来+36.8%であるが、当銘柄は+7.4%にとどまり、大型ハイテク株の中では出遅れている。ただし直近3カ月では+38.7%とS&P 500を33.4ポイント上回り、出遅れを取り戻しつつある。

**金利**：米10年債利回りは5.18%で、1カ月で約52bp上昇した。FRBは9月16日に25bpの利上げを実施した。VIXは14.9と低水準であり、市場に動揺はみられない。

**当銘柄への影響（推測）**：当銘柄の今期予想PERは26.1xで、選定した同業他社の中央値19.4xを上回るため、割引率の上昇に対する感応度が高い。一方、会社は現金・短期投資$76.8Bを保有し、FY26の受取利息は$3.3Bであった（10-K）。利上げはこの部分には小幅なプラスとなる。S&P 500に対する1年ベータは0.99であるが、相関係数は0.39にとどまり、株価は主に自社固有の要因（AI設備投資、OpenAI）で変動している。

## 指数とセクター

| | 直近 | 1週間 | 1カ月 | 3カ月 | 年初来 | 1年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| S&P 500 | 7,743.41 | +1.2% | +0.9% | +5.3% | +13.1% | +17.2% |
| ナスダック総合 | 27,068.72 | +2.1% | +3.6% | +7.0% | +16.5% | +20.9% |
| ダウ工業株30種 | 51,828.62 | +0.3% | -3.1% | -0.1% | +7.8% | +12.8% |
| ラッセル2000 | 2,837.55 | -0.8% | -5.6% | -5.7% | +14.3% | +17.7% |
| Technology セクター ETF | 196.27 | +3.6% | +7.5% | +8.5% | +36.8% | +41.9% |
| **MSFT** | **516.17** | **+4.5%** | **+4.0%** | **+38.7%** | **+7.4%** | **+2.6%** |

## 金利・ボラティリティ・相対パフォーマンス

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| VIX 恐怖指数<br>14.87<br>1カ月 -0.34 | 米10年債利回り<br>5.18%<br>1カ月 +52bp | ドル指数<br>100.97<br>1カ月 +1.80 | 対 S&P ベータ<br>0.99<br>1年相関係数 0.39 | 3カ月の超過リターン<br>+33.4%<br>対 S&P 500 |
| 1年の超過リターン<br>-14.6%<br>対 S&P 500 | | | | |

## マクロと市場の出来事

| 日付 | 出来事 | この銘柄にとっての意味 | 出典 |
|---|---|---|---|
| 2026-09-16 | FRB が 25bp 利上げし、政策金利を 3.75%–4.00% に。2023 年以来の利上げで、ドットチャートの中央値は 2026 年内にもう1回の利上げを見込む | 金利上昇は、高バリュエーションの成長株の割引率を押し上げる（推測）。当銘柄のバリュエーションは同業中央値を上回っており、影響はややマイナスである。手元資金の受取利息は小幅に増加する。 | CNBC |
| 2026-09 中旬 | 米10年債利回りが 5.135% に上昇し、2007 年7月以来の高水準に。ダウは3月以来最悪の週を記録 | market.jsonでは9月25日時点で5.18%に達している。長期金利の上昇は、デュレーションの長いハイテク株のバリュエーションの重石となる（推測）。 | CNBC |

| 日付 | 出来事 | この銘柄にとっての意味 | 出典 |
|---|---|---|---|
| 2026-09-09 | 米国とイランの衝突が激化し、原油は1バレル $100 を突破、米国株は下落 | エネルギー価格の上昇はインフレを押し上げ、利上げ観測を強める（推測）。データセンターの電力コストにも影響し得るが、会社の開示資料はこのエクスポージャーを定量化しておらず、規模は確認できなかった。 | AP / The Columbian |

02

## イベント

2026-09-26

未確定 ニュース

**報道：大手テック企業のAIインフラ投資が中東に拡大、イラン紛争の影響を受ける**

yfinanceのニュース見出しのみであり、記事本文は確認していない。マイクロソフトの10-Kはデータセンター資産を地域別に開示しておらず、このエクスポージャーの規模は確認できなかった。

出典：Yahoo Finance（標題）

2026-09-23

好材料 レーティング

**Stifelが格上げ：ホールドから買いへ、目標株価を$530から$575に引き上げ**

数少ない慎重派の一社が強気に転じたことは、センチメント面でプラスである。同じ週にOppenheimer（$515 → $570）とCantor（$522 → $608）も目標株価を引き上げた（yfinanceのレーティングデータ）。具体的な根拠はレポート原文を確認しておらず、確認できなかった。

出典：yfinance 评级变动；CNBC 报道标题

2026-09-02

中立 8-K

**FY27 から報告セグメントを2つに再編：Agents and Infra と Devices and Consumer**

合計額は変わらないが、Azureの定義が変更される。GitHubとSecurity CopilotがM365クラウドに移管され、FY26のAzure成長率は41%から40%に、第4四半期は43%から42%に修正再表示された。今後、旧基準と比較する際は再表示後の数値を用いる必要がある。FY27第1四半期のAzureガイダンスは新基準で44–45%（為替一定）である。

出典：8-K item 7.01（2026-09-02）

2026-07-29

未確定 会社発表

**10-Kが未開始のデータセンター・リース$329.1Bと購入コミットメント$194.1Bを開示**

AI需要に備えた生産能力の確保であると同時に、将来の固定費でもある。リースはFY27–FY33にかけて順次開始し、開始後はリース負債と減価償却費が発生する。投資回収の成否は、AzureとAIの需要の持続性に依存する。

出典：10-K（2026-07-29）附注 13

2026-07-29

好材料 決算

**FY26 第4四半期決算：売上高 $90.0B（+18%）、GAAP EPS $4.81、調整後 $4.74**

売上高、営業利益、EPSのいずれも会社ガイダンスを上回った。Azureは+43%、商業RPOは$678B（+84%）である。ただし会社自身が、一時的項目によってEPSがガイダンスを$0.27上回ったと説明しており、その中にはAnthropic投資益$3.2Bが含まれる。これを除いても上振れであるが、見かけ上の11.8%よりは小幅である。

出典：8-K item 2.02（2026-07-29）

---

2026-06-02

中立 8-K

**取締役の Reid Hoffman 氏が再任を求めず**

8-Kには経営陣との意見の相違はないと明記されている。5月には別途取締役1名が新たに選任され、監査委員会と報酬委員会に加わった。

出典：8-K item 5.02（2026-06-05）

赤は好材料、緑は悪材料（中国式の配色）、灰色は中立、青はまだ判断できないもの。

---

## 過去90日のアナリスト評価の変更（35件、直近12件を表示）

| 日付 | 機関 | 動き | 評価 | 目標株価 |
|---|---|---|---|---|
| 2026-09-23 | Stifel | up | Hold → Buy | 530 → 575 |
| 2026-09-22 | Oppenheimer | main | Outperform → Outperform | 515 → 570 |
| 2026-09-21 | Cantor Fitzgerald | main | Overweight → Overweight | 522 → 608 |
| 2026-09-15 | Citizens | reit | Market Outperform → Market Outperform | 550 → 550 |
| 2026-09-04 | Stifel | main | Hold → Hold | 450 → 530 |
| 2026-09-01 | B of A Securities | main | Buy → Buy | 500 → 600 |
| 2026-08-12 | Wells Fargo | main | Overweight → Overweight | 650 → 700 |
| 2026-08-05 | Tigress Financial | main | Buy → Buy | 680 → 690 |
| 2026-07-30 | Bernstein | main | Outperform → Outperform | 646 → 647 |
| 2026-07-30 | Citigroup | main | Buy → Buy | 570 → 600 |
| 2026-07-30 | RBC Capital | reit | Outperform → Outperform | 640 → 640 |
| 2026-07-30 | Stifel | main | Hold → Hold | 400 → 450 |

yfinance の集計で、個別には検証していません。up 引き上げ、down 引き下げ、main 据え置き、init 新規、reit 再表明。

---

03

# レーティングとスコアカード

## 当社のレーティング

中立 今後12カ月のトータルリターンが S&P 500 と±10ポイント以内と予想 · スコアカード加重点 3.20

**発行者のレーティング：中立。ルールに基づく推奨と同一である（スコアカード加重スコア3.20）。ファンダメンタルズは優れているが、現在の株価は好材料を概ね織り込んでい**

る。

**事業の質は同業上位である。** FY26の売上高は3,318億ドル（+17.8%）、営業利益は+20.8%。Azureの成長率は40%から43%に加速し、営業利益率45.1%は同業最高で、財務はネットキャッシュである。

**バリュエーション面の安全余裕は乏しい。** 今期（FY27）予想PERは26.1倍で、同業中央値19.4倍に対して約35%のプレミアムがある。株価は高値まで約4%の水準にあり、3カ月・6カ月ではS&P500を上回っている。

**利益には非経常的な投資関連益が含まれる。** GAAP利益にはOpenAIの持分希薄化益65億ドル（税引前）が含まれ、調整後EPSにも第4四半期のAnthropic投資益32億ドルが残る。設備投資は倍増し、フリーキャッシュフロー/純利益は0.50倍にとどまる。さらに、未開始のデータセンター・リース3,291億ドルはオフバランスである。

**レーティング変更の条件：** 株価調整によりバリュエーション・プレミアムが明確に縮小する、またはAzureがさらに加速し利益が投資関連益に依存しなくなれば、格上げを検討する。AI設備投資の増加に売上高が追いつかない、あるいは10月29日のFY27第1四半期決算で成長鈍化が示されれば、格下げを検討する。

レーティングは公開情報にもとづくリサーチ上の見解で、特定の個人の資産状況を前提にしたものではありません。ルールと分布は レーティングの定義

| ファンダメンタルズ | バリュエーション | モメンタム | 決算の質 | リスク |
|---|---|---|---|---|
| 4 / 5 | 2 / 5 | 3 / 5 | 3 / 5 | 4 / 5 |

リスクの点数は高いほどリスクが低いことを示します。5項目の加重点から推奨レーティングを出し、発行者が確認して確定します。

## この点数の理由

**ファンダメンタルズ**
4 / 5

売上高成長率は10–20%の区分で4点である。営業利益率は直近4四半期で48.9%から45.1%に低下したが、主に季節要因である。前年同期の第4四半期は44.9%で前年比ほぼ横ばいのため、減点しない。売上総利益率は前年比1.4ポイント低下（68.6% → 67.2%）し、10-KはAIインフラへの投資を要因に挙げている。Azureの成長は加速している（40% → 43%）が、全体の売上高成長率が20%を超えていないため、5点とはしない。

売上高 TTM +17.8%、第4四半期 +17.7%；第4四半期の営業利益率 45.1%（前年 44.9%）；ROE 34.0%

**バリュエーション**
2 / 5

今期（FY27）予想PERは26.1xで、選定した同業他社の中央値19.4xを約35%上回り、2点の区分に該当する。PEGは約1.3（26.1 ÷ 予想EPS成長率19.8%）で、調整は行わない。同業のうちAAPLはハードウェア中心、ORCLは高レバレッジであり比較可能性が限られるため、この項目の確度は中程度である。

今期予想 PER 26.1x、同業中央値 19.4x；FY27→FY28 の予想 EPS 成長率 19.8%

**モメンタム**
3 / 5

短期は強く、長期は弱い。3カ月と6カ月ではS&P 500を上回り、1年と年初来では下回っている。株価は50日移動平均（+9.0%）と200日移動平均（+19.5%）を上回り、1年の最大ドローダウンは-34.5%（底は2026-06-25）、現在は高値から-4.0%の水準である。強弱のシグナルが混在しているため3点とする。

超過リターン 3M +33.4%、6M +23.7%、1Y -14.6%、YTD -5.7%

**決算の質**
3 / 5

5点から2点を減点した。① FY26のその他収益は$10.7Bで税引前利益の6.4%であるが、第2四半期単独では20.7%に達する。主因はOpenAIの持分希薄化益で、現金ではなく会計上の利益である（10-K、2026-07-29）。② 調整後EPSには第4四半期のAnthropic投資益$3.2Bが残っており、通期の調整後その他収益は$4.2Bである（8-Kと10-K、2026-07-29）。FCF / 純利益は0.50であるが、原因は会社が説明済みのAI設備投資であるため減点しない。売上債権回転日数は前年比横ばい（82日対83日、推定）であり、減点しない。

営業外収益の税引前利益に占める比率：通期 6.4%、第2四半期 20.7%；FCF $67.0B／純利益 $133.7B

**リスク**
4 / 5

5点から1点を減点した。未開始のリース$329.1Bは時価総額の約8.6%、年間営業キャッシュフローの1.8倍に相当し、基準を超えている（10-K注記13）。その他の項目は減点しない。1年ボラティリティ32.8%、最大ドローダウン-34.5%はいずれも基準内である。OpenAIは売上高の7.3%、売上債権の7.4%で10%を下回る。債務元本$46.1Bに対し現金・短期投資は$76.8Bで、ネットキャッシュである。

未開始リース $329.1B；OpenAI 売上高 $24.1B（7.3%）；ボラティリティ 32.8%

## ウォール街の見方




yfinance の集計、アナリスト52人、更新時期は不明。分布を示すだけで、目標株価を裏づけるものではありません。

04

# 決算を読み解く

## 四半期業績

| 四半期末 | 売上高 | 前期比 | 前年比 | 粗利率 | 営業利益率 | 純利益 | 希薄化後EPS | 営業CF | フリーCF |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2025-06-30 | $76.4B | +9.1% | +18.1% | 68.6% | 44.9% | $27.2B | – | $42.6B | $25.6B |
| 2025-09-30 | $77.7B | +1.6% | +18.4% | 69.0% | 48.9% | $27.7B | 3.72 | $45.1B | $25.7B |
| 2025-12-31 | $81.3B | +4.6% | +16.7% | 68.0% | 47.1% | $38.5B | 5.16 | $35.8B | $5.9B |
| 2026-03-31 | $82.9B | +2.0% | +18.3% | 67.6% | 46.3% | $31.8B | 4.27 | $46.7B | $15.8B |
| 2026-06-30 | $90.0B | +8.6% | +17.7% | 67.2% | 45.1% | $35.8B | – | $55.4B | $19.6B |

出典：SEC XBRL。フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資。第4四半期の EPS は XBRL に欠けることが多く、会社発表の数字を優先します。

## バリュエーション

| 基準 | EPS | PER |
|---|---|---|
| GAAP、直近12カ月 | 17.96 | 28.7x |
| 調整後、直近12カ月（アナリスト基準） | 17.28 | 29.9x |
| 今期予想（0y） | 19.76 | 26.1x |
| 来期予想（+1y） | 23.68 | 21.8x |

FY27の予想EPSは$19.21–$20.70で、予想のばらつきは小さい。FY28は$22.08–$26.00と、ばらつきが大幅に拡大する。調整後の過去12カ月EPS $17.28は会社公表のFY26 non-GAAP EPSと一致するが、OpenAI以外の投資益が1株当たり約$0.45（推定）含まれている。

現在の株価で計算。予想 EPS は yfinance が集計したアナリスト平均で、調整後ベースです。

## 決算書が語っていること

yfinanceの売上高、営業利益、純利益、GAAP EPS、営業キャッシュフロー、売上債権、棚卸資産は、XBRLと四半期ごとに照合し、差異は0.0%であった。問題は派生指標と、開示資料にのみ記載された背景情報に集中している。

**GAAP利益にOpenAI関連益が含まれる**：yfinanceでは第2四半期の純利益$38.46Bが営業利益を上回り、第4四半期のGAAP EPSは前年比+31.7%である。10-Kによると、通期のその他収益$10.7BのうちOpenAI関連の純利益が$6.5B（税引前）で、「主にOpenAIの組織再編に伴う持分希薄化益」である。持分は約25%（転換後ベース）で、HLBV法（仮想清算時に受け取れる額で測定する方法）により会計処理している（10-K、2026-07-29）。これを除くと、通期の純利益成長率は31%ではなく22%である。

**調整後EPSにAnthropic関連益が含まれる**：yfinanceでは第4四半期の調整後EPSは$4.74で、市場予想を11.8%上回った。プレスリリースには、第4四半期にAnthropic投資益$3.2Bが含まれ、一時的項目の合計で会社ガイダンスを1株当たり$0.27上回ったと明記されている（8-K、2026-07-29）。通期の調整後その他収益は$4.2B（前年-$0.1B）で、税率19%で換算すると1株当たり約$0.45（推定）となり、すべて$17.28に含まれている。

**フリーキャッシュフローは減少**：営業キャッシュフローは$182.9B（+34%）であるが、有形固定資産の取得が$115.9B（前年$64.6B）に増加し、フリーキャッシュフローは$67.0Bと前年の$71.6Bを下回った。このほか、新規のファイナンス・リース資産$24.6B（非現金）と、「主に部品調達向け」のその他投資支出$19.9Bは設備投資に含まれていない（10-K）。FY27第1四半期の設備投資ガイダンスは「$50B超、耐用年数変更の影響を含む」であるが、変更の詳細は確認した資料に見当たらず、確認できなかった。

**売上債権の前四半期比+34.7%は季節要因**：第4四半期は期末の請求が集中する時期である。回転日数は82日で、前年同期は83日（推定）であった。通常の支払条件は30–60日で、OpenAI向け売上債権は$6.0Bである（10-K）。

**債務は増加していない**：FY26は社債を発行せず、$3.0Bを返済した。長期債務の元本は$46.1Bで、うち$9.25BがFY27に満期を迎える。直近の四半期以降、Item 8.01や2.03の8-Kは提出されていない。

## 原資料にしか書かれていないこと

**未開始のリース$329.1B**：主にデータセンターで、FY27–FY33に開始し、期間は1–20年、「一部は特定の契約条件の充足が前提」である。計上済みのファイナンス・リース負債は$46.2Bから$66.6Bに増加した（10-K注記13）。

**契約上の義務は合計$743.8B**：うち購入コミットメントが$194.1B（FY27中に$169.0B）、建設仮勘定のコミットメントが$34.6Bである（10-K）。比較として、現金と短期投資は$76.8Bである。

**OpenAIは関連当事者であり、主要顧客でもある**：FY26のOpenAIからの売上高（レベニューシェアを含む）は$24.1Bで、総売上高の7.3%である。投資コミットメントは$13.0Bで、うち$11.9Bを拠出済みである（10-K）。FY27第1四半期の商業受注ガイダンスは「前年のOpenAI契約を除く」と明記しており（8-K、2026-09-02）、前年の受注に占めるOpenAIの比率が大きかったことを示す。ただし具体的な数値は開示されていない。

**セグメントと指標の定義がFY27から変更**（8-K、2026-09-02）。詳細はイベントの時系列を参照。

**non-GAAPの定義**：変更はなく、一貫してOpenAIのみを除外している。「no longer exclude」のような文言は確認されなかった。

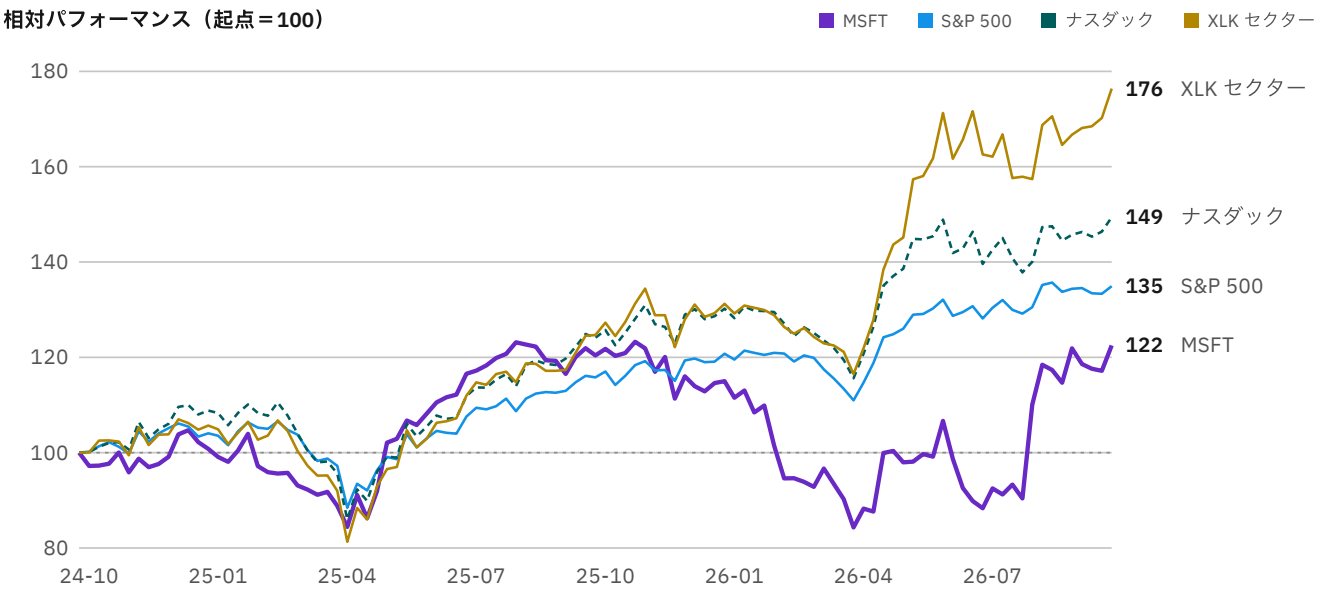
## データベンダーの誤り

| 項目 | yfinance | 原資料（計算方法つき） |
|---|---|---|
| freeCashflow | $16.5B | **$67.0B** = 営業キャッシュフロー $182.9B – 有形固定資産の取得 $115.9B（10-K） |
| forwardPE | 21.8x | **FY28**（2028-06期）のEPS $23.68に基づく。FY27のEPS $19.76で計算すると**26.1x**となる |
| totalDebt | $128.8B | 社債は$40.3Bのみである。ファイナンス・リース$66.6Bとオペレーティング・リース$21.9Bを加えた3項目の合計が、ちょうど$128.8Bとなる（10-K） |
| 四半期の total_debt | $56.8B | 社債$40.3B + 長期オペレーティング・リース$16.5B（推定）にほぼ一致し、異なる定義が混在している |
| Normalized Income | 第2四半期 $38.2B、第4四半期 $33.4B | 会社の調整後ベース：第2四半期EPS $4.14（GAAP $5.16）、第4四半期の純利益$35.3B（8-K）。yfinanceは除外の方向も金額も会社ベースと一致しない |
| earningsGrowth / profitMargins | 31.7% / 40.3% | OpenAI関連益によりかさ上げされている。調整後の純利益成長率は22%、純利益率は38.8%（$128.8B / $331.8B）である |
| 第4四半期の上振れ幅 | +11.8% | Anthropic関連益$3.2Bを含む。会社は、一時的項目が自社ガイダンス比で+$0.27寄与したと説明している（8-K、2026-07-29） |
| dividendYield | 0.76 | パーセント表示であり、0.76%を意味する |

05

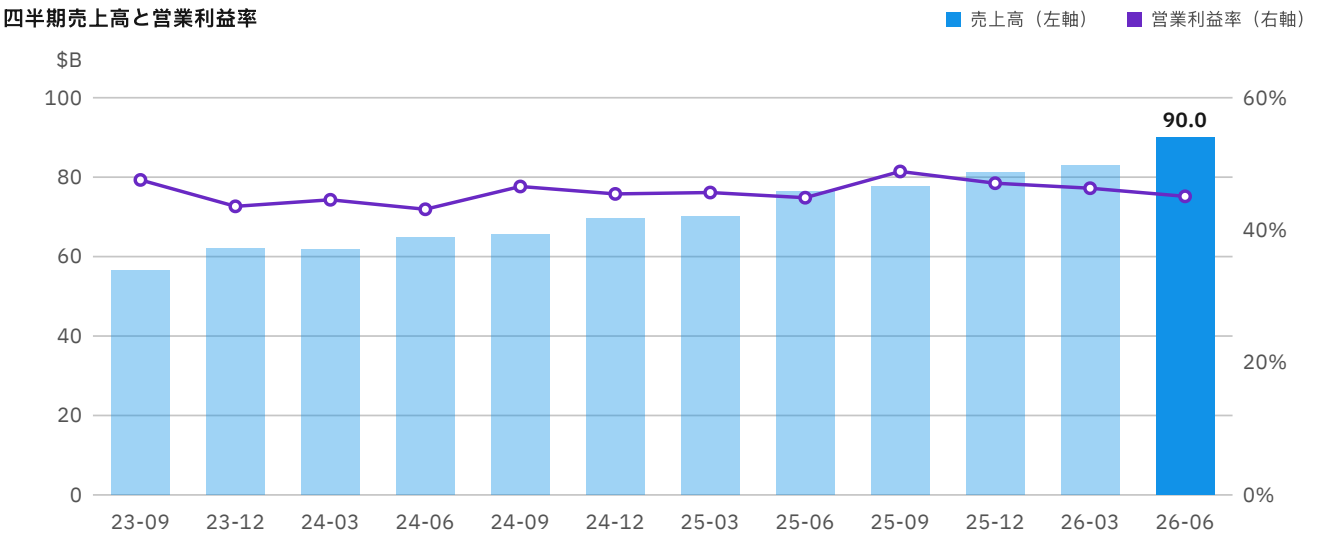
# 株価の推移

**相対パフォーマンス（起点＝100）**




週次終値（調整後）、2024-09-29 を100として指数化。右端の数字は期末の値です。

**四半期売上高と営業利益率**




直近12四半期。出典：SEC XBRL。

06

# 同業比較

| ティッカー | 名称 | 時価総額 | 1カ月 | 年初来 | 1年 | PER 実績 | PER 今期 | 売上成長率 | 粗利率 | 営業利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **MSFT** | **Microsoft Corporation** | **$3.83T** | **+4.0%** | **+7.4%** | **+2.6%** | **28.7x** | **26.1x** | **+17.7%** | **67.9%** | **45.1%** |
| GOOGL | Alphabet Inc. | $4.21T | +0.6% | +10.1% | +40.3% | 17.3x | 16.7x | +24.2% | 60.9% | 34.0% |
| AMZN | Amazon.com, Inc. | $2.69T | -4.1% | +8.2% | +14.4% | 20.1x | 19.4x | +19.6% | 50.8% | 13.7% |

| ティッカー | 名称 | 時価総額 | 1カ月 | 年初来 | 1年 | PER 実績 | PER 今期 | 売上成長率 | 粗利率 | 営業利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ORCL | Oracle Corporation | $414.6B | -7.9% | -29.0% | -52.4% | 21.5x | 16.8x | +29.6% | 64.0% | 35.6% |
| AAPL | Apple Inc. | $4.98T | +8.8% | +25.8% | +33.3% | 39.1x | 38.7x | +16.4% | 48.7% | 32.6% |
| META | Meta Platforms, Inc. | $1.91T | +30.6% | +14.2% | +0.7% | 28.3x | 24.1x | +28.0% | 81.7% | 34.8% |
| *同業中央値* | | *$2.69T* | *+0.6%* | *+10.1%* | *+14.4%* | *21.5x* | *19.4x* | *+24.2%* | *60.9%* | *34.0%* |

yfinance の集計で、決算書とは照合していません。今期PER＝株価 ÷ 今期（0y）予想 EPS。forwardPE が来期ベースになる問題を避けています。同業の出典：--peers。中央値は本銘柄を除きます。

同業他社は大手クラウド・プラットフォーム企業（GOOGL、AMZN、ORCL、AAPL、META）から個別に選定した。yfinanceが自動で挙げる同業はPLTR、PANW、CRWDのようなセキュリティ・ソフトウェア株で、規模も収益化の段階も比較可能でないため採用していない。当銘柄の今期予想PERは26.1xで、同業中央値19.4xを上回る。営業利益率45.1%は同業で最も高く、売上高成長率17.7%は同業中央値を下回る。1年の上昇率+2.6%は、同業の中でORCLとMETAを上回るのみである。注意：同業のデータはyfinanceの集計値であり、各社の決算資料とは個別に照合していない。

07

# スマートマネー

誰が持ち、誰が売買しているか：追跡している人物のうち 7 人が MSFT を保有

| 人物 | データ | 報告期間 | 評価額 / レンジ | ポートフォリオ比率 | 四半期の変化 |
|---|---|---|---|---|---|
| ビル・アックマン | 13F 保有 | 2026-06-30 | $2.3B | 11.9% | 買い増し |
| チェイス・コールマン | 13F 保有 | 2026-06-30 | $846M | 3.5% | 一部売却 |
| 段永平 | 13F 保有 | 2026-06-30 | $281M | 1.5% | 一部売却 |
| レイ・ダリオ | 13F 保有 | 2026-06-30 | $266M | 1.1% | 一部売却 |
| ジョージ・ソロス | 13F 保有 | 2026-06-30 | $71M | 0.9% | 一部売却 |
| キャシー・ウッド | 13F 保有 | 2026-06-30 | $2M | 0.0% | 一部売却 |
| ルネサンス・テクノロジーズ | 13F 保有 | 2026-06-30 | $2M | 0.0% | 一部売却 |
| デビッド・テッパー | 13F 保有 | 2026-06-30 | $0 | 0.0% | 全売却 |

各人物の最新の公開済み 13F、インサイダー報告、資産開示から。13F には約45日の遅れがあります。 スマートマネー →

08

# この先の注目点

| | | |
|---|---|---|
| 2026 年 10 月下旬 | **次回 FOMC** | ドットチャートは年内にもう1回の利上げを示唆している。10年債利回りが5%超で定着するかが焦点である。正確な日程はFRBの公表スケジュールによる。 |
| 2026-10-29 | **FY27 第1四半期決算（新セグメントでの初の報告）** | 市場予想はEPS $4.72、売上高$90.66Bである。会社ガイダンスは売上高$89.85–$90.95B、営業利益率は前年同期並み、その他収益は約-$0.1B（OpenAIを除く）で、第4四半期のような投資益は見込んでいない。焦点は、Azureが44–45%（為替一定、新基準）に達するか、設備投資が$50Bを超えるか、耐用年数変更の具体的な内容である。 |
| 2026-11-19 | **配当権利落ち日** | 12月10日に支払い（yfinanceのカレンダー）。 |
| 2026 年内（日期未核实） | **年次株主総会** | Reid Hoffman氏の任期は本総会をもって終了する（8-K、2026-06-05）。 |
| 持续 | **OpenAI と未開始リース** | HLBV法の下では、OpenAI関連の損益が今後もGAAP利益の変動要因となる。$329.1Bのリースの開始に伴うリース負債と減価償却費の増加ペース、およびフリーキャッシュフローの回復の有無に注目する。 |

リサーチ上の記録であり、投資助言ではありません。

# 出典

株価・アナリストデータ：yfinance + SEC EDGAR、2026-09-25 終値時点、遅延あり。財務データ：SEC EDGAR（XBRL と原資料）。マクロとニュースは各項目のリンク先を参照。赤が上昇、緑が下落。

ウェブ検索：CNBC：FRB の9月会合の決定、CNBC：9月17日の市場、AP/The Columbian：原油価格。